

庁内関係課からの意見等

課名	意見等の内容
健康福祉政策課	<p>センターの機能や役割については、千葉県保健医療計画における「県立病院が担うべき役割」を踏まえた検討をお願いしたい。</p> <p>○ 千葉県保健医療計画 第2編第1章第2節「5 県立病院が担うべき役割」</p> <p>[県立病院の将来方向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療圏内で完結することができない高度専門的な医療について全県及び複数圏域を対象とした医療機能を担っていくことを基本とする ・ 県全体の医療の質の向上のための人材育成と情報提供機能を担っていく <p>[リハビリテーション医療に係る具体的な医療機能]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の医療機関等では対応できない、高度な医学的リハビリテーションから福祉サービスを利用した社会復帰に至るまで、各ライフステージに沿った、包括的な総合リハビリテーションセンター機能 ・ 千葉県リハビリテーション支援センターの機能 など
健康づくり支援課	<p>○ 本県における地域リハビリテーションの推進のため、二次保健医療圏ごとに当該圏域の中核施設となる広域支援センターを各1箇所指定し、さらにその広域支援センターを支援する県支援センターを1箇所指定している。</p> <p>県支援センターは、本事業の開始当初(H14)より千葉リハビリテーションセンターが担っており、広域支援センターへの助言や技術的支援、各広域支援センター相互の連携や情報共有、関係機関従事者の人材育成などを行っており、本事業を推進する上で主軸となっている。また、千葉県保健医療計画においては、脳卒中の循環型地域医療連携システムに県支援センター及び広域支援センターの役割が位置づけられている。</p> <p>○ さらに平成30年3月には、大規模災害時における避難所等でのリハビリテーション支援のため、千葉リハビリテーションセンターを事務局とする千葉県災害リハビリテーション支援関連団体協議会（C-RAT）とリハ職等の派遣に関する協定を締結している。</p> <p>○ このため、千葉リハビリテーションセンターの施設整備にあたっては、地域リハビリテーションの取組や大規模災害時におけるリハビリテーション支援の取組を引き続き実施するため、脳卒中への対応を含む高度なリハビリテーション技術や関係部署（地域リハ推進部）の設置など組織的な対応が今後も必要である。</p> <p>○ なお、本事業の推進にあたっては、特定の地域や特定の施設との関係を要するものではないため、立地上の制約は特段ないものと考えている。</p>
障害者福祉推進課	<p>○ 現在、千葉リハビリテーションセンター内に設置されている中央障害者相談センターは、身体障害者福祉法及び知的障害者福祉法に基づく「身体障害者更生相談所」、「知的障害者更生相談所」であり、18歳以上の障害のある人の社会的自立更生等の援護事業に対して、技術的な機能が十分発揮できるよう、相談者に対する助言、指導、処遇方針の作成、治療訓練等の相談・判定を行う専門機関である。</p> <p>障害者相談センターは、県内に2か所あり、中央障害者相談センターは、千葉市、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、印西市、白井市、栄町を除く市町村を所管区域としており、建設地の検討に関しては、所管区域の観点から、また、利用者の利便性の観点からセンター内の整備を検討いただきたい。</p> <p>○ 高次脳機能障害支援事業を「千葉県身体障害者支援事業団に」委託しており、引き続きセンターの機能・役割として業務の継続を予定している。</p>

課名	意見等の内容				
病院局	○千葉県こども病院の患者の紹介状況について				
		紹介件数		逆紹介件数	
			うち 千葉リハから		うち 千葉リハへ
平成 29 年度	4, 216	97	2, 304	203 ※	
平成 28 年度	4, 235	72	2, 505	114	
※こども病院の眼科医がリハビリテーションセンターに移動したため増加					
特別支援教育課	<p>袖ヶ浦特別支援学校は、本年5月1日現在で、177名の肢体不自由や病弱の児童生徒が学んでいる。36名の千葉リハ入所児童生徒のみならず、100名を超える通学生の多くが千葉リハを主治医としており、教育と医療とがこれまで一体となって取り組んできている。</p> <p>医療的ケアなど障害の重い児童生徒も含め、一人一人に応じた多様な教育を今後も在籍する児童生徒に提供していくためにも、千葉リハと袖ヶ浦特別支援学校が隣接していることが重要であり、工事期間がかかっても現在地での建替えを強く希望する。</p>				